近年、人工知能やロボットによる仕事の生産性の向上に注目が集まっている。その仕事の中でも代替が容易な仕事と困難な仕事が存在する。人工知能とロボットのそれぞれで代替が容易な仕事と困難な仕事の具体例を挙げてその根拠を以下述べる。

　まず初めに人工知能によって代替が容易な仕事としてデータ入力、データ判断が挙げられる。人工知能は教師付きのデータを与えれば自らルールを作り作業をする事ができる。そのため決まった形へのデータの入力・整形は容易であろうと考えられる。またデータから特徴量を見つけ出しそこから分析・判断することも人工知能の得意とすることである。

　次に人工知能により代替が困難な仕事として、カウンセラーが挙げられる。まだ人工知能は人間の思考や感情をシミュレーションすることは苦手である。そのため人の話を聞き、適切な反応をすること、人の心が大切な仕事は代替することが難しいと考えられる。

　3つ目にロボットによって代替が容易な仕事として清掃業が挙げられる。すでにiRobotから発売されているルンバなど掃き掃除についてはロボットが代替している。これは空間把握の技術が応用されており、ルンバなどのような地上のみならずドローン等でどこにあるものも清掃する事ができるようになるだろう。

　そして最後にロボットによって代替が困難な仕事とし